

年頭のご挨拶

学園創立140周年、 大学創立50周年に向けて 教育体制の充実化を進めます

学

学校教育を取り巻く環境がより厳しさを増す中、新しい年がやってまいりました。

今、学校教育現場では政府の教育再生会議が打ち出した「グローバル人材の養成」に対応して、国際教育プログラムの充実を図る学校が増えています。本学園も、中高ではオーストラリアのセント・リタス校と姉妹校提携を結び、毎年、夏期に海外語学研修として生徒が現地へ赴いています。また今年からは、文京区主催のニュージブランドでの研修に生徒が参加する予定です。一方、大学は従来の英国国立スターリング大学との提携に加えて、新たに台湾の国立高雄餐旅大学との友好協定と、キルギス共和国のビシケク人文大学と学術交流協定を締結し、今後は教職員や学生の、さらなる

活発な相互交流が行われることになりま。さらに、新たな大学とも協定の締結等に向けて調整中です。

海外との国際交流の拡充にあたり、中高、大学ともに「真のグローバル人材」を育てるためのカリキュラムを充実させていく必要があります。真のグローバル人材とは、語学に堪能だけでなく、語学を駆使して日本の伝統や文化を海外に発信できる人材、文理のバランス感覚に優れた文理融合型の国際教養人です。この人材を育むため、外国語教育の中核となる「語学センター」のような機関を設立。「読む・書く・聞く・話す」の4技能を徹底的に鍛え、これを土台に国際教養人養成のためのカリキュラム設計を具体化させたいと考えています。

2015年、 第三の学部誕生

跡見学園女子大学は2015（平成27）年、創立50周年という大きな節目の年を迎えます。この年は、学園創立140周年にもあたりま。この記念すべき年に、大学に3番目の学部「観光コミュニケーション学部（仮称）」の設置を構想しています。新学部は観光デザイン学科、コミュニケーションデザイン学科の2学科で構成されます。

観光デザイン学科は、観光を通して地域の伝統や文化を内外に向けて発信できる人材を育成します。コミュニケーション学科は、共同体としての地域社会が機能しにくくなっている現代社会にあつて、地域コミュニティのリーダーとして活躍でき



跡見学園理事長
山崎 一穎

る人材を育てることが目標です。跡見学園女子大学では、東京都文京区や埼玉県新座市、福島県会津若松市など各地域と連携し、教職員・学生が一体となつて地域貢献に向けたさまざまな取り組みを積極的に展開していきます。設置を予定している観光コミュニケーション学部は、こうした実績を基盤として地域に根差し、地域から国際社会への発信を図る学部です。

グローバル人材養成のための機関や新学部の開設に向けて、安定した財政基盤を確立し、環境整備を図っていくのが理事長たる私に課せられた責務です。微力ながら、全力を挙げて取り組む所存です。つきましては学園関係者の皆様には、今年もより一層のご協力を賜りたくお願い申し上げます。